

## 平成29年度第2回 大和市子ども・子育て会議 会議録

日 時 : 平成29年7月28日(金)

午後2時~午後3時15分

場 所 : 大和市保健福祉センター

501会議室

欠席者 : 村田委員、中尾委員、野坂委員

傍聴者 : 1名

### 1. 開 会

### 2. あいさつ

### 3 議 事

#### (1) 大和市子ども・子育て支援事業計画の中間期見直しについて

会 長 : 大和市子ども・子育て支援事業計画の中間期見直しについて、事務局より説明をお願いします。

事務局 : (資料1により、事務局より説明)

会 長 : ただいまの説明について、ご意見ご質問がありましたらお願いします。

委 員 : 資料にある待機児童の数値は厚生労働省の基準に基づく数値か。

事務局 : 厚生労働省の基準に基づく数値です。

委 員 : ここ最近何年か幼稚園の2歳児の入園が増えているが、区分としては何号認定にあてはまるのか。

事務局 : 国の方から示される方向性に沿って区分する予定です。

委 員 : 幼稚園に通う2歳児も統計に含めるとなると、教育・保育の需給計画の数値も変わってくるのではないか。

事務局 : 事業の内訳は変わる可能性があるが、教育・保育ニーズ全体の数値は変わらないと考えます。

委 員 : 教育・保育ニーズにおける事業計画の見直しの考え方について、「待機児童の早期解消の実現に向けた保育所等の整備や既存保育所の定員の拡大など、積極的な取り組みをした」というポジティブな表現と「目標施設整備数と実際の整備数との間にかい離が生じた」というネガティブな表現があり、矛盾しているのではないか。

事務局 : 計画に定めている施設整備について、待機児童の早期解消のために前倒しで着手した結果、目標施設整備数と実際の整備数にかい離が生じたという内容であり、矛盾はないものと考えます。

委 員 : 3号認定区分について、0歳から2歳と一括りにされているが、0歳と1・2歳に分けて考える必要があるのではないか。

事務局 : 計画の見直しにあたっては0歳と1・2歳を分けて検討を行う予定です。

委員 : 新制度が始まって以降、保育所等に対する各種補助金や給付金が増えており、現場での事務量の増加が懸念される。市は手続きの簡素化に努めてほしい。

事務局 : 簡素化を図っているところですが、引き続き検討していきます。

#### 4 閉 会

以上